KOSEN
国立高等専門学校機構

学生の『チカラ』、保証します。

特色あるカリキュラム

特色あるカリキュラムで社会ニーズに応え地域に貢献

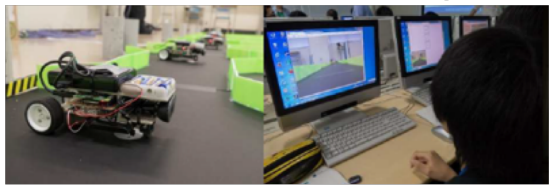
新たな産業を牽引する人材育成

○情報セキュリティ人材

①飛びぬけた情報セキュリティ人材

②セキュリティにも強い高専生

（専門分野＋セキュリティ）



ロボット制御におけるセキュリティ

○海洋人材

５商船遠隔講義

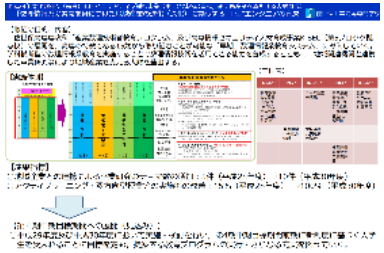
海洋人材広報イベント

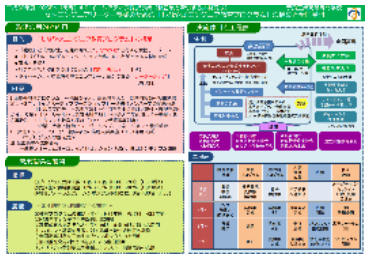
○航空技術者

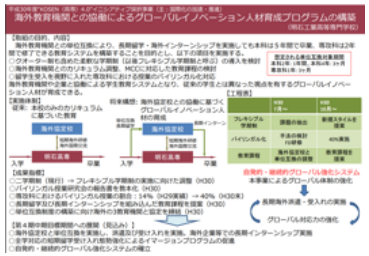
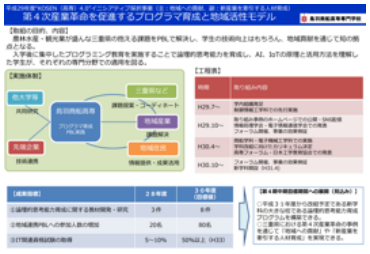
航空技術者プログラム

KOSEN4.0

「新産業を牽引する人材育成」「地域への貢献」
「国際化の加速・推進」の3つの方向性を軸に、
各国立高専の強み・特色を伸長する事業
（29年度37件、30年度34件）





KOSEN
国立高等専門学校機構

MCC実質化への課題

「モデルカリキュラムーガイドラインー」、平成２９年４月２８日

1. モデルコアカリキュラムに対応したカリキュラム設計(シラバス作成)
2. 学習成果や備えるべき能力(アウトカムズ)に対する到達度を効率的かつ効果的に評価できる方法の構築
3. 学生が期待されるアウトカムズへ到達することを支援する教員の教育内容や教育方法の検討と共有
4. 科目担当教員が連携した組織的なFD/SDへの取り組みの実施
5. 学生が自らの到達度を認識し、自主的・自律的に学習活動を継続していく仕組みの確立
6. モデルコアカリキュラムそのものの点検評価方法と改善の仕組の構築

京都大学の事例：理学部コースツリー（学部全体）

⑨松下委員
（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）
御提出資料

京都大学理学部理学科

京都大学　理学部（理学科）のディプロマポリシー

DP1:	DP2:	DP 3:	DP4:	DP5:
理学の基礎体系を修得する	理学における個々の知識を総合化し、自ら考え、新しい知を吸収し創造的に展開する姿勢を備えている	日常的な科学・技術の諸課題について、理学の知識を用いて科学的な解決方法を構想できる	理学の意義と重要性を理解し、その発展に寄与することを目指した行動ができる	理学に関する課題に取り組むための幅広い視野と教養を身につけ、異なる文化・分野の人々ともコミュニケーションできる

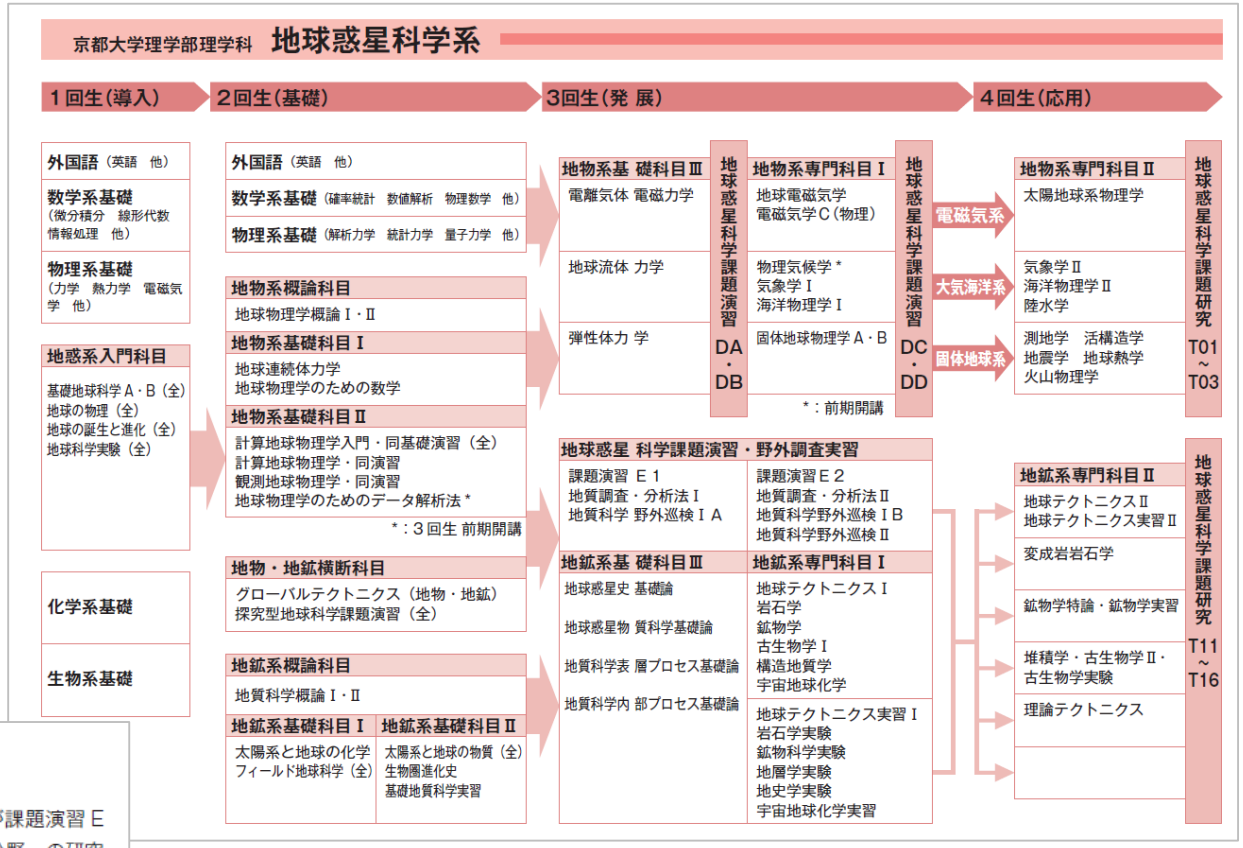
緩やかな専門化を経て、研究の最前線へ

	数理科学系	物理科学系	地球惑星科学系	化　学　系	生物科学系
4回生（応用科目）	数学講究	課題研究（P, Q, S）	課題研究（T）	課題研究	課題研究
3回生（発展科目）	代数学Ⅰ・Ⅱ　代数学演義Ⅰ・Ⅱ 幾何学Ⅰ・Ⅱ　幾何学演義Ⅰ・Ⅱ 解析学Ⅰ・Ⅱ　解析学演義Ⅰ・Ⅱ 函数解析学　数値解析 微分方程式論　計算機科学 複素函数論　非線型解析	課題演習（A, B, C） 物性物理学 素粒子物理学 原子核物理学 宇宙物理学	課題演習（D, E） 地球惑星物質層ブ内部 電磁気学、気象・気候・海洋物理学、固体地球物理学、地球惑星史基礎論、地球惑星科学表プロセス基礎論、地質科学プロセス基礎論	化学実験Ａ・Ｂ 物理化学ⅢＡ・ⅢＢ 無機化学ⅡＡ・ⅡＢ 物性化学Ⅰ・Ⅱ 有機化学Ⅱ・Ⅲ 生物化学Ⅱ・Ⅲ 量子化学Ⅱ　分析化学Ⅱ	生物学実習 生物学セミナー ミクロ生物学系専門科目 マクロ生物学系専門科目
2回生（基礎科目）	**系　登　録** **数理科学系**　線形代数学続論　微分積分学続論Ⅰ・Ⅱ　関数論　非線型解析入門　代数学入門　幾何学入門　集合と位相　各種演習 **物理科学系**　解析力学　電磁気学　量子力学　統計力学　物理数学 **地球惑星科学系**　地球物理学概論　地球連続体力学　地質科学概論Ⅰ・Ⅱ　グローバルテクトニクス **化学系**　物理化学Ⅰ・Ⅱ　無機化学Ⅰ　有機化学ⅠＡ・ⅠＢ　生物化学Ⅰ　量子化学Ⅰ　分析化学Ⅰ　入門化学実験 **生物科学系**　ミクロ生物学系専門科目、マクロ生物学系専門科目、基礎生物学実験				
1回生（導入科目）	**緩やかな専門化** **全学共通科目** 人文・社会科学科目群 自然科学科目群　専門基礎科目（微分積分学　線形代数学　物理学基礎論Ａ・Ｂ　物理学実験　基礎地球科学　地球科学実験　基礎物理化学　基礎有機化学Ⅰ　基礎化学実験　生物学のフロンティア　生物・生命科学入門　個体と集団の基礎生物学　細胞と分子の基礎生物学　生物学実習） 外国語科目群 少人数教育科目群 情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群				

（注）京都大学理学部は理学科のみの１学科制

（http://www.sci.Kyoto-u.ac.jp/ja/_upimg/kce/5WkD5g/files/undergrad_chart_2018.pdf）

京都大学の事例：理学部コースツリー（地球惑星科学系）



地球惑星科学系（地質学鉱物学分野）を専攻しようとする諸君へ

【3回生段階】

課題演習 E、及びこれら以外の 3500 番台の科目

3回生向けのカリキュラムで，当教室が特に力を入れているのが課題演習Eである。この課題演習は，あらゆる地球科学分野ーとくに地質科学分野ーの研究で役立つフィールド調査や機器分析の能力を修得できるように，多数の教員が協力して開講されている。**課題演習 E1・E2** とセットとなっている**地質調査・分析法Ⅰ・Ⅱ**も合わせて履修していただくことになっている。また当教室の講義、実習（3500 番台、4500 番台）は、3回生から4回生にかけて徐々に専門化していけるように設計されている。なかでも、前期に開講されている4つの基礎論ー**地球惑星史基礎論、地球惑星物質科学基礎論、地質科学表層プロセス基礎論、地質科学内部プロセス基礎論**ーは、地質学鉱物学分野に進む上で必須となる基礎教養を得るための講義科目であることから、ぜひ4科目すべてを履修して欲しい推奨科目群である。後期はやや専門化された講義や実験・実習が用意されていて、各人の志望や興味に合わせて選択することが可能となっているが、できることならなるべく多くの科目をバランスよく履修するように心がけて欲しい。また、随時に開講される**地質科学野外巡検ⅠA・ⅠB・Ⅱ**も履修を強く薦めるフィールド系の実習科目である。

京都大学の事例：コースツリー等の作成プロセス、責任者、見直し等のチェック体制

- コースツリー等の作成プロセス

＊カリキュラム・マップはあえて作成を求めない

教育担当理事
└教育制度委員会 ⇄ 各部局
教務委員会

【FD研究検討委員会】
【高等教育研究開発推進センター】
勉強会・コンサルテーション

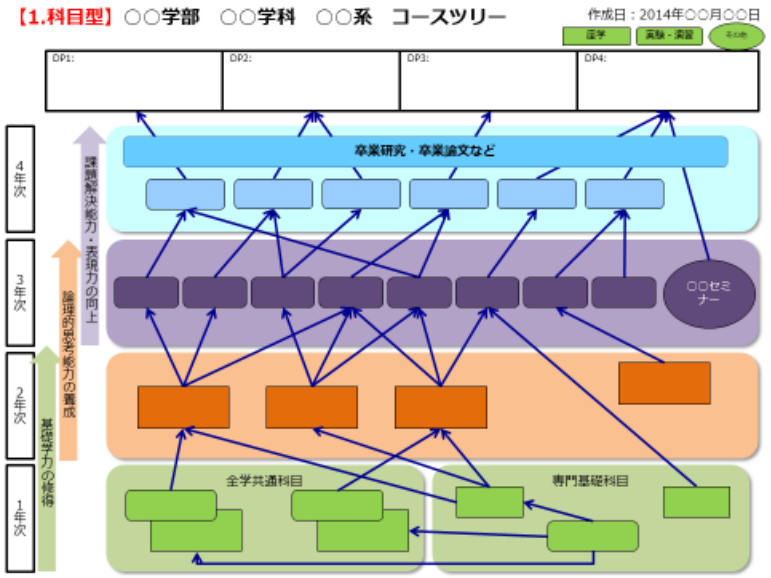
- 勉強会

- 第10回「コースツリー勉強会」（2014.7.22開催）
- 第11回「コースツリー勉強会」（第2回）（2014.10.20開催）
- 第12回「ナンバリング勉強会」（2015.3.6開催）
- 第13回「大学院カリキュラムの可視化勉強会」（2015.7.29開催）
- 第14回「3つのポリシー」（2016.9.28開催）
- 第15回「『3つのポリシー』の見直しの進め方」（2018.12.26開催）
- 第16回「『3つのポリシー』の見直し― Q & A ―」（2019.1.15開催）

- コンサルテーション
  - 要望のあった部局に対して個別に

■URL
・FD研究検討委員会　勉強会
http://www.fd.kyoto-u.ac.jp/session/
・高等教育研究開発推進センター　勉強会
http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/event-2/
・高等教育研究開発推進センター　Annual Report
http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/publication/

【例】第10回「コースツリー勉強会」
- 第1部　講演と事例紹介
  - コースツリーの多様性 ➔ 9つのタイプに分類し、タイプごとにテンプレートを提示
- 第2部　グループワーク



外国語学部 カリキュラムツリー

演習科目　プログラム科目　プラスワン外国語科目　専攻言語科目

DP1（知識・技能）

幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得するとともに、主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる。

1. 幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる
2. 主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる

DP2（思考力・判断力・表現力等の能力）

言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用し、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献することができる。

1. 言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる
2. グローバルな視野に立って自ら考えることができる
3. 周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる
4. 「考動力」を発揮して社会に貢献することができる

DP3（主体的な態度）

自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる。

4年次

- 卒業演習2
- 卒業演習1

3年次

- 専門演習

【言語コミュニケーション教育】
- 外国語学習者論
- 外国語テスト・評価論
- 外国語教育メディア・教材論
- 外国語早期教育論
- 心理言語学研究
- 日本語教育演習
- 言語教育学（英語）
- 言語教育学（中国語）
- 言語教育学（日本語）
- 第二言語習得論

【言語分析】
- 言語分析研究（一般）
- 言語分析研究（英語）
- 言語分析研究（日本語）
- 言語分析研究（中国語）
- 言語の構造（音声・音韻）
- 言語の構造（意味・談話）
- 言語と社会（欧米）
- 言語と社会（アジア）

【地域言語文化】
- カルチュラル・インタラクション1
- カルチュラル・インタラクション2
- 言語接触研究
- エリア・スタディーズ（英米）
- エリア・スタディーズ（アジア）
- エリア・スタディーズ（ヨーロッパ1）
- エリア・スタディーズ（ヨーロッパ2）
- 地域言語文化論（英米）
- 地域言語文化論（中国）

【異文化コミュニケーション】
- コミュニケーション研究
- 国際ビジネスコミュニケーション論
- メディアコミュニケーション論
- 観光コミュニケーション論
- 国際協力・ボランティア論
- 文化とコミュニケーション
- 比較文化論
- コミュニケーション論
- 多文化共生論

【通訳翻訳】
- 文化翻訳論
- 英語通訳ワークショップ
- 英語翻訳ワークショップ
- 通訳翻訳の理論と実技a/b
- 通訳演習a(各テーマ)
- 通訳演習b(各テーマ)
- 翻訳演習a(各テーマ)
- 翻訳演習b(各テーマ)

- プラスワン外国語（各言語）3 a/b
- プラスワン外国語（各言語）4 a/b
- 副専攻言語（各言語）3 a/b
- 副専攻言語（各言語）4 a/b
- 副専攻言語（各言語）5 a/b

- Advanced Academic Reading 1/2
- Advanced Academic Communication
- Advanced Writing 1/2
- Critical Thinking Skills
- Projects in English 1/2
- 英語資格試験対策1/2

- 中国語講読
- 中国語口頭表現
- 中国語資格取得支援a/b
- 中国語方言
- 中国語 プラクティカルライティング
- 中国語 プラクティカルライティング
- 中国語 プレゼンテーション
- 中国語上級a/b

- 資格科目
- 専門関連科目
- 自由科目

2年次

- SA（スタディ・アブロード）プログラム

1年次

- スタディ・アブロード・プレパレーション
- 基礎演習
- 情報リテラシー

- ことばの世界(英語)
- ことばの世界(中国語)
- スタディ・アブロード地域文化入門
- 日本文化論
- 言語教育学概論
- 異文化コミュニケーション概論
- 通訳概論
- 翻訳概論
- 英米文学概論
- 中国文学概論

- プラスワン外国語（各言語）1a/b
- プラスワン外国語（各言語）2a/b
- 副専攻言語（各言語）クロス留学

- Academic Listening and Speaking a/b
- Academic Writing a/b
- Academic Reading a/b
- Grammar and Vocabulary Development a/b
- English Communication for Study Abroad
- Critical Literacy for Study Abroad

- 中国語総合1a/b
- 中国語総合2a/b
- 中国語理解1
- 中国語理解2/3
- 中国語表現1/2
- 応用中国語

- 資格科目
- 専門関連科目
- 自由科目

- 共通教育科目（基盤科目群、自己形成科目群、グローバル科目群、実践科目群、大学・学部連携科目群、関西大学科目群）

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
導入科目	基礎演習	BA100	1	2	必修	大学における学びへの導入、外国語学を学ぶ意義の理解、母語によるコミュニケーション能力の向上および資料読解力の深化を図る。	◎				○		
導入科目	情報リテラシー	BA101	1	2	必修	情報検索、ならびに収集では、関大図書館でのオンライン情報検索収集方法、各種データベース、検索エンジン、辞書、コーパス、各種Webサイト等を効果的に活用する方法を習得する。情報の処理および編集では、文書作成／グラフ作成・表計算／プレゼンテーション／ホームページ作成(簡単なHTML等)の基礎を学び、それらの統合的な利用を目指す。さらに、ICTを課題解決に活用し、実際のプレゼンテーションを行うことで、情報を発信／共有する力をActive Learning で養っていく。なお、内容や進度は適宜調整を行う。	◎				○		
導入科目	ことばの世界(英語)	SP100	1	2	選択必修	① 現代言語学を基盤とする英語学研究の考え方(概念)を知る。 ② 英語学の概念を学習文法や語法研究に応用する。 ③ 通時的、共時的視点双方から、英語に関する知識を深める。	◎		○				
導入科目	ことばの世界(中国語)	SP101	1	2	選択必修	「中国語とはどういう言語か」について、特に、文法と語彙の面から、その特徴を探る。	◎		○				
導入科目	スタディ・アブロード地域文化入門	SP102	1	2	選択必修	国際人として、地域文化の世界教養を身につけること。	◎			○	○		○
導入科目	日本文化論	SP103	1	2	選択必修	By the end of the course, students will: a) be able to recall, form evidence-based opinions on, and discuss in English, various influences that have helped shape contemporary Japanese culture(s) and society; b) have gained a deeper understanding of the ways in which Japanese culture(s) and society have been approached by academics in Japan and abroad; c) have gained a deeper understanding of similarities and differences between Japanese culture(s) and other cultures around the world.	◎		○	○			○
導入科目	言語教育学概論	SP104	1	2	選択必修	1. 言語教育学の様々な側面に関する知識を得ることができる 2. 言語教育学における諸問題に対して、自分の意見を持つことができる 3. 自らの言語学習についての客観的な知識を得ることができる	○		◎				
導入科目	異文化コミュニケーション概論	SP105	1	2	選択必修	異文化間コミュニケーションについて理解を深めるとともに、2年次に予定されているスタディ・アブロードでのよりスムーズな異文化適応を可能にすることを目指す。	○		◎	○	○		○
導入科目	通訳概論	SP106	1	2	選択必修	(1) 教材で扱う時事的なトピックについて見識を深める。(2) 教材に出てくる重要語彙をマスターする。(3) 基礎的な通訳スキルと学習方法を習得する。		○	◎	○	○		
導入科目	翻訳概論	SP107	1	2	選択必修	①「翻訳リテラシー」(翻訳行為への理解、翻訳者への理解、翻訳ユーザーとしての倫理)を身に付ける ②翻訳を通して、言語・文化的差異・諸問題への問題意識を高める ③翻訳理論と実践からの学びにより、コミュニケーションのメタ認知能力を高め、自らの言語活動(および翻訳行為)を論理的に説明できる能力を身に付ける		○	◎	○	○		
導入科目	英米文学概論	SP108	1	2	選択必修	英米の作家の思想と英米の文化の真髄に迫り、英米の人たちの知恵・思惟を理解することを目標とする。	○		◎			○	
導入科目	中国文学概論	SP109	1	2	選択必修	(1)中国文学の個別の基礎知識を習得する。 (2)中国文学の大まかな流れや展開を理解する。 (3)基本的な漢文の読み方を習得する。	○		◎			○	
専攻言語科目	Academic Listening and Speaking a	LE100	1	1	必修	By the end of the course, students should be able to (1) listen to and understand lectures on a variety of academic topics, (2) take notes summarizing the contents of lectures, and (3) discuss and research issues related to topics covered in the lectures.		◎			○		
専攻言語科目	Academic Listening and Speaking b	LE101	1	1	必修	By the end of the course, students should be able to (1) listen to and understand lectures on a variety of academic topics, (2) take notes summarizing the contents of lectures andkeep them filed a folder in an organized and systematic manner, and (3) discuss and research issues related to topics covered in the lectures.		◎			○		
専攻言語科目	Academic Writing a	LE102	1	1	必修	具体的には、以下の5つを目標にする。 (1)文字を用いたコミュニケーションの特性を理解する (2)よいパラグラフの特徴を理解する。 (3)効果的に展開された知的なパラグラフが書けるようになる (4)ライティングにおける流暢さを向上させる (5)自己添削やピア添削の技術を身につける		◎			○		
専攻言語科目	Academic Writing b	LE103	1	1	必修	具体的には、以下5つを目標にする。 (1)文字を用いたコミュニケーションの特性を理解する (2)よいエッセイの特徴を理解する (3)効果的に展開された知的なエッセイが書けるようになる (4)ライティングにおける流暢さを向上させる (5)自己添削やピア添削の技術を身につける		◎			○		
専攻言語科目	Academic Reading a	LE104	1	1	必修	アカデミックな語彙力の強化、および、リーディングスキルの習得により、以下の力の養成を目標とする。 1. 書かれたものを適切なスピードで正確に読み、的確にまとめる。 2. 読んだ内容を批判的に判断し、自らの意見を持ちそれを発表したり、グループでのディスカッションに参加することができる。 3. 多量の英文を継続して読む。		◎			○		

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
専攻言語科目	Academic Reading b	LE105	1	1	必修	アカデミックな語彙力の強化、および、リーディングスキルの習得により、以下の力の養成を目標とする。 1. 書かれたものを適切なスピードで正確に読み、的確にまとめる。 2. 読んだ内容を批判的に判断し、自らの意見を持ちそれを発表したり、グループでのディスカッションに参加することができる。 3. 多量の英文を継続して読む。		◎			○		
専攻言語科目	Grammar and Vocabulary Development a	LE106	1	1	必修	2年次のSAプログラム，およびその後の専門課程における学習に対応できる，日常・アカデミックな状況で必要なレベルの文法，語彙力を身につける。具体的には，語彙は学習開始レベルからプラス3,000語とし，6,000語を共通の到達目標とする（後期終了時には6,000語レベルを修了していること）。診断テストで低いレベルからの開始となった学生は，努力して6,000語までを終わるようにする。また，文法は対面授業での学習を中心に行う。これにより，1年間でTOEFL ITPテストで50点程度の能力向上を目指す。		◎					
専攻言語科目	Grammar and Vocabulary Development b	LE107	1	1	必修	2年次のSAプログラム，およびその後の専門課程における学習に対応できる，日常・アカデミックな状況で必要なレベルの文法，語彙力を身につける。具体的には，語彙は学習開始レベルからプラス3,000語とし，6,000語を共通の到達目標とする（後期終了時には6,000語レベルを修了していること）。診断テストで低いレベルからの開始となった学生は，努力して6,000語までを終わるようにする。また，文法は対面授業での学習を中心に行う。これにより，1年間でTOEFL ITPテストで50点程度の能力向上を目指す。		◎					
専攻言語科目	English Communication for Study Abroad	LE108	1	1	必修	Students will learn how to * interacting in class * maintaining a conversation * choose a topic for their presentation and decide what to say about it * organise their thoughts and information so that listeners can follow their ideas easily		◎		○	○	○	◎
専攻言語科目	Critical Literacy for Study Abroad	LE109	1	1	必修	Students will learn how to * interact in class * maintain a conversation * choose a topic for their presentation and decide what to say about it *organise their thoughts and information so that listeners can follow their ideas easily		◎		○	○	○	◎
専攻言語科目	中国語総合1a	LC100	1	1	必修	〈春〉 中国語の基礎のもとに応用力を身につける。		◎		○	○		
専攻言語科目	中国語総合1b	LC101	1	1	必修	中国語の基礎のもとに応用力を伸ばす。 中国語検定試験3級以上		◎		○	○		
専攻言語科目	中国語総合2a	LC102	1	1	必修	中国語の基礎のもとに応用力を身につける。 中国語検定試験3級以上。		◎		○	○		
専攻言語科目	中国語総合2b	LC103	1	1	必修	中国語の基礎のもとに応用力を伸ばす。 中国語検定3級以上。		◎		○	○		
専攻言語科目	中国語理解1	LC104	1	1	必修	日常的な内容の中国語を聞き取り理解することができる。20文字程度の中国語を聞き取り理解することができる。 コミュニケーション能力を身につける。 表現力を身につける。		◎		○	○		
専攻言語科目	中国語理解2	LC105	1	1	必修	初対面の挨拶，自己紹介，道の尋ね方等の基本的なパターンを身につける。		◎		○	○		
専攻言語科目	中国語理解3	LC106	1	1	必修	現代中国語の文法に基づいた正確な文を作成することができる。 自分で考え表現する力を身につける。		◎		○	○		
専攻言語科目	中国語表現1	LC107	1	1	必修	コミュニケーション能力，表現力，応用力を身につける。 正確な文章を作る。		◎		○	○		
専攻言語科目	中国語表現2	LC108	1	1	必修	コミュニケーション能力，表現力，応用力を身につける。		◎		○	○		
専攻言語科目	応用中国語	LC109	1	1	必修	やや高度な内容の中国語を聞き取り理解することができる。40文字程度の中国語を聞き取り理解することができる。		◎		○	○		
専攻言語科目	スタディ・アブロード・プレパレーション	LA100	1	―	必修	留学中に関西大学外国語学部の学生としての自覚と責任を持って行動できるようになることが「スタディ・アブロード・プレパレーション」の目的です。				○	○	○	◎
専攻言語科目	スタディ・アブロード（各大学）各授業科目	LA200	2	―	必修	外国語運用能力、コミュニケーション能力を高めると同時に、国際的視野を広げます。		◎		○	○	○	◎
専攻言語科目	Advanced Academic Reading 1	LE300	3	2	選択必修	英語を読むために英語を読むのではなく、読んだ英語をもとに英語で何かができるようになること。		◎		○	○		
専攻言語科目	Advanced Academic Reading 2	LE301	3	2	選択必修	英語を読むために英語を読むのではなく、読んだ英語をもとに何かができるようになること。このセメスターでは、TED Talks スタイルで5分程度のスピーチが英語でできるようになるためにTED Talks のスクリプトを読む。また、英語でスピーチをする心理的ハードルを下げるため、英語の歌詞を読み、その意味を理解し、歌えるようにする。		◎		○	○		
専攻言語科目	Advanced Academic Communication	LE302	3	2	選択必修	By the end of this course, students will be able to (1) listen and prove their understanding on a variety of topics; (2) critically analyze and discuss controversial issues in English; (3) make academic presentations		◎		○	○	○	
専攻言語科目	Advanced Writing 1	LE303	3	2	選択必修	1. 適切な語彙を使用して、論理的に繋がりのある文章を書くことができる。 2. 説明文（expository writing）を十分に書くことができる。 より具体的には、与えられたトピックについて、論理構成、文法的正確さ、および異文化語用論的な諸問題等に十分に注意を払いながら、所定時間内に 一定語数以上の英文を作成できるとともに、作成した英文を客観的に見直し、必要に応じて適切に推敲できるようになることを目指す。なお、説明文に慣れた後は説得文（persuasive writing）の演習も発展的に取り入れる。		◎		○	○		
専攻言語科目	Advanced Writing 2	LE304	3	2	選択必修	By the end of this course, students should improve their skills in business-related writing in English.		◎		○	○		

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
専攻言語科目	Critical Thinking Skills	LE305	3	2	選択必修	Successful completion of this course will enable you to ● understand the arguments and beliefs of others ● critically evaluate those arguments and beliefs ● develop and defend one's own well-supported arguments and beliefs After you have finished this course you should be more ● self-aware, recognizing your own biases and influences ● objective, basing your judgments on evidence ● sensitive to language, recognizing ambiguous, vague, emotionally laden language ● fair and intellectually honest, avoiding misrepresenting the ideas of others or misinterpreting data		○		○	○	◎	◎
専攻言語科目	Projects in English 1	LE306	3	2	選択必修	By the end of this course, students should improve their skills in research, groupwork, critical thinking, presentations, and discussions.		○				◎	◎
専攻言語科目	Projects in English 2	LE307	3	2	選択必修	By the end of this course, students should improve their skills in research, groupwork, critical thinking, presentations, and discussions.		○				◎	◎
専攻言語科目	英語資格試験対策1	LE308	3	2	選択必修	春季の授業を通して、TOEIC平均50点アップを目標とします。		◎					
専攻言語科目	英語資格試験対策2	LE309	3	2	選択必修	英検一級・準一級合格という具体的目標を掲げつつ、英語の4技能的にバランスのとれたコミュニケーションスキルを向上させる 1. 英語読解力のスピードと精度を上げる。 2. 語彙力の幅を広げる。 3. 文法力をブラッシュアップし、英語表現力を多彩で的確なものにする。 4. 本試験に出題される可能性の高い分野の英文に数多く触れ、背景知識を増やす。 5. 上記に関連し、リスニングや特にライティングに関する問題にも力を入れ、高得点を獲得できる力を養う。		◎					
専攻言語科目	中国語講読	LC300	3	2	選択必修	中国語の読解力向上に重きを置くが、同時に、その内容について議論することを通じ、中国人の価値観を深く理解することをも目指す。		◎		○	○	○	
専攻言語科目	中国語口頭表現	LC301	3	2	選択必修	中国語によるスピーチができる。意見を述べることができる。		◎		○	○		
専攻言語科目	中国語資格取得支援a	LC302	3	2	選択必修	中国語検定試験の2級を合格することを目指す。		◎					
専攻言語科目	中国語資格取得支援b	LC303	3	2	選択必修	中国語検定試験の2級を合格することを目指す。		◎					
専攻言語科目	中国語方言	LC304	3	2	選択必修	広東語の仕組み、概略を知り、さらに学習を続けていけるだけの基礎力を身につける。決して今回の単位修得で終わりではないということを理解しておいて欲しい。	○	◎				○	
専攻言語科目	中国語プラクティカルライティング	LC305	3	2	選択必修	到達目標は、平易で、説得力のある中国語の文章を作成できるよう文法、表現面で基礎的な知識を習得すること。 中国語で社交手紙を含め、平易で、正しい文章を書くことができるようになること。		◎		○	○	○	
専攻言語科目	中国語アカデミックライティング	LC306	3	2	選択必修	到達目標は、平易で、説得力のある中国語の文章を作成できるよう文法、表現面で基礎的な知識を習得すること。 中国語で社交手紙を含め、平易で、正しい文章を書くことができるようになること。		◎		○	○	○	
専攻言語科目	中国語プレゼンテーション	LC307	3	2	選択必修	①与えられたテーマについて調査して、伝えるべき内容を考えて、それを理路整然とまとめる。 ②できるだけ適切な中国語の表現を用いて表現する。 ③プレゼンテーションに必要なスキルを習得する。		◎		○	○	○	
専攻言語科目	中国語上級a	LC308	3	2	選択必修	確実に中国語の実力を身につけ，実用レベルに到達する。		◎					○
専攻言語科目	中国語上級b	LC309	3	2	選択必修	確実に中国語の実力を身につけ，実用レベルに到達する。		◎					○
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（英語）1 a	LA101	1	1	選択必修	一般的な内容の話し言葉はとくに大きな支障なくほぼ理解することができ、簡単な文や単語を使って自分の意思を口頭で表現することができる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ドイツ語）1 a	LA101	1	1	選択必修	初級文法を概観し、話す・聞く・読む・書くの4技能を総合的に修得するために必要な基礎力を身につけることを目的とする。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（フランス語）1 a	LA101	1	1	選択必修	春学期はフランス語の音に慣れ、初歩的なコミュニケーション（自分や他人を紹介する、住所・、友人関係・持ち物などの個人的情報について、質問し、答える）が行えることを目標とします。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ロシア語）1 a	LA101	1	1	選択必修	キリール文字と発音に慣れること、挨拶など簡単な表現を習得すること。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（スペイン語）1 a	LA101	1	1	選択必修	まずはスペイン語の発音をおぼえます。その後、名詞の性と数、それにともなう形容詞の変化など、基礎文法を習得します。ことに規則動詞と不規則動詞の直説法現在の活用を正しくできるようになることが目標です。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（中国語）1 a	LA101	1	1	選択必修	1) 日常的なコミュニケーションが行える程度に、中国語の発音に習熟する。2) 基本的な文のパターンと日常的な語彙を習得し、それを用いて、読む・聞く・書く・話すのすべての面において、簡単なメッセージの理解と意志の疎通が行えるようにする。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（朝鮮語）1 a	LA101	1	1	選択必修	朝鮮語の文字・発音と基礎的な文法事項を習得する。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（英語）1 b	LA102	1	1	選択必修	一般的な内容の話し言葉はとくに大きな支障なくほぼ理解することができ、簡単な文や単語を使って自分の意思を口頭で表現することができる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ドイツ語）1 b	LA102	1	1	選択必修	初歩的な会話や文章作成の能力を身につけることを目標とする。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（フランス語）1 b	LA102	1	1	選択必修	*秋学期終了時点では、ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、自分に直接関係がある領域に関して、よく使われる文や表現が理解できること、平易な言い方であれば、日常的な事柄についての情報交換が口頭で行えるようになることが目標です。		◎		○	○		

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ロシア語）１ｂ	LA102	1	1	選択必修	ロシア語で簡単なプレゼンテーションができる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（スペイン語）１ｂ	LA102	1	1	選択必修	過去の時制や接続法現在など、スペイン語の基礎文法を習得し、運用できるようにします。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（中国語）１ｂ	LA102	1	1	選択必修	1）日常的なコミュニケーションが行える程度に、中国語の発音に習熟する。2）基本的な文のパターンと日常的な語彙を習得し、それを用いて、読む・聞く・書く・話すのすべての面において、簡単なメッセージの理解と意志の疎通が行えるようにする。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（朝鮮語）１ｂ	LA102	1	1	選択必修	朝鮮語の基礎的な文法事項を習得しつつ、初歩的な言語運用能力を育成する。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（英語）２ａ	LA103	1	1	選択必修	時事英語の新聞や週刊誌の記事等を用いてニュース英語の表現に慣れ、簡単な英文ニュース記事が読めるようになることを授業の主たる目標とする。世界の動向を新聞記事やオンライン・ニュース記事等で学ぶことで英文記事の構成や概要が理解できるようにする。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ドイツ語）２ａ	LA103	1	1	選択必修	初級文法を概観し、話す・聞く・読む・書くの4技能を総合的に修得するために必要な基礎力を身につけることを目的とします。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（フランス語）２ａ	LA103	1	1	選択必修	春学期はフランス語の音に慣れ、初歩的なコミュニケーション（自分や他人を紹介する、住所・家族関係・好きなことなどの個人的情報について、質問し、答える）が行えることを目標とします。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ロシア語）２ａ	LA103	1	1	選択必修	キリール文字と発音に慣れること、挨拶など簡単な表現を習得すること。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（スペイン語）２ａ	LA103	1	1	選択必修	既習の文法事項を用いて、簡単な作文や発言ができるようになる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（中国語）２ａ	LA103	1	1	選択必修	1）日常的なコミュニケーションが行える程度に、中国語の発音に習熟する。2）基本的な文のパターンと日常的な語彙を習得し、それを用いて、読む・聞く・書く・話すのすべての面において、簡単なメッセージの理解と意志の疎通が行えるようにする。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（朝鮮語）２ａ	LA103	1	1	選択必修	朝鮮語の文字・発音と基礎的な文法事項を習得する。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（英語）２ｂ	LA104	1	1	選択必修	時事英語の新聞や週刊誌の記事等を用いてニュース英語の表現に慣れ、簡単な英文ニュース記事が読めるようになることを授業の主たる目標とする。世界の動向を新聞記事やオンライン・ニュース記事等で学ぶことで英文記事の構成や概要が理解できるようにする。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ドイツ語）２ｂ	LA104	1	1	選択必修	初歩的な会話や文章作成の能力を身につけることを目標とします。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（フランス語）２ｂ	LA104	1	1	選択必修	・秋学期終了時点では、ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、自分に直接関係がある領域に関して、よく使われる文や表現が理解できること、平易な言い方であれば、日常的な事柄についての情報交換が口頭で行えるようになることが目標です。 ・日常的な事柄についての文章や案内文などの内容を理解し、簡単な問い合わせの手紙などの文章も作成できるようにします。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ロシア語）２ｂ	LA104	1	1	選択必修	ロシア語で簡単なプレゼンテーションができる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（スペイン語）２ｂ	LA104	1	1	選択必修	簡易なスペイン語で書かれた文章を読み、スペインの文化に触れたり、スペイン語で自らの考えを表現できるようになる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（中国語）２ｂ	LA104	1	1	選択必修	1）日常的なコミュニケーションが行える程度に、中国語の発音に習熟する。2）基本的な文のパターンと日常的な語彙を習得し、それを用いて、読む・聞く・書く・話すのすべての面において、簡単なメッセージの理解と意志の疎通が行えるようにする。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（朝鮮語）２ｂ	LA104	1	1	選択必修	朝鮮語の基礎的な文法事項を習得しつつ、初歩的な言語運用能力を獲得する。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（英語）３ａ	LA300	3	1	選択	2年次のSAプログラム，およびその後の専門課程における学習に対応できる，日常・アカデミックな状況で必要なレベルの文法，語彙力を身につける。具体的には，語彙は学習開始レベルからプラス3,000語とし，6,000語を共通の到達目標とする（後期終了時には6,000語レベルを修了していること）。診断テストで低いレベルからの開始となった学生は，努力して6,000語までを終わるようにする。また，文法は対面授業での学習を中心に行う。これにより，1年間でTOEFL ITPテストで50点程度の能力向上を目指す。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ドイツ語）３ａ	LA300	3	1	選択	基礎的な文法を理解し、運用できることを目標とします。 ドイツ語圏の国々の歴史や文化、芸術に興味を覚え、実際の場でドイツ語が自由に使えるようになることを目指します。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（フランス語）３ａ	LA300	3	1	選択	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解でき、身近で個人的にも関心のある話題について、一貫性のある内容を話すことができ、また同じ内容の文章が書けることを目標とします。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ロシア語）３ａ	LA300	3	1	選択	入門・基礎レベルの内容を復習しながら、ロシア語によるプレゼンテーションのための基礎表現を身に付ける。 ・ロシア語で簡単なプレゼンテーションを行えるようになる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（スペイン語）３ａ	LA300	3	1	選択	初級文法で学習したことを読む・書く・聞くといった実際のコミュニケーション場面で応用できるようにすることを目標とする。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（中国語）３ａ	LA300	3	1	選択	礎を固め応用力を身につける。さらに中級レベルの読解力と会話力を養う。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（朝鮮語）３ａ	LA300	3	1	選択	読み書き能力向上を図るとともに、平易な日常会話が可能な口頭運用能力の養成を図ります。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（英語）３ｂ	LA300	3	1	選択	2年次のSAプログラム，およびその後の専門課程における学習に対応できる，日常・アカデミックな状況で必要なレベルの文法，語彙力を身につける。具体的には，語彙は学習開始レベルからプラス3,000語とし，6,000語を共通の到達目標とする（後期終了時には6,000語レベルを修了していること）。診断テストで低いレベルからの開始となった学生は，努力して6,000語までを終わるようにする。また，文法は対面授業での学習を中心に行う。これにより，1年間でTOEFL ITPテストで50点程度の能力向上を目指す。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ドイツ語）３ｂ	LA301	3	1	選択	基礎的な文法運用力と語彙力を習得し、実際にドイツ語圏で使用されている簡単な文章を理解し、日常生活で最低限必要な表現力を身につけます。		◎		○	○		

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（フランス語）３ｂ	LA301	3	1	選択	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的 な話し方であれば主要点を理解でき、身近で個人的にも関心のある 話題について、一貫性のある内容を話すことができ、また同じ内容 の文章が書けることを目標とします。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ロシア語）３ｂ	LA301	3	1	選択	ロシア語で日本について簡単に紹介できるようになる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（スペイン語）３ｂ	LA301	3	1	選択	・実際的なコミュニケーションの役に立つように、日常会話に資するような語彙と表現を獲得する。 ・単語（文字）を読むことができる。 ・単語を正確に聞き取り、発音することができる。 ・話すときの身振り手振りや表情等が、日本人とは異なることを認識する。 ・講師との会話からスペイン語を学ぶだけではなく、海外に住んでいるネイティブスピーカーの経験や考え方との接触によって視野を広げる。 ・スペインとラテンアメリカのスペイン語の発音や単語の差異をある程度まで認識する。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（中国語）３ｂ	LA301	3	1	選択	基礎を固め応用力を身につける。さらに中級レベルの読解力と会話力を養う。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（朝鮮語）３ｂ	LA301	3	1	選択	読み書き能力向上を図るとともに、平易な日常会話が可能な口頭運用能力の養成を図ります。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語(英語)4a	LA302	3	1	選択	具体的には、以下の5つを目標にする。 （1）文字を用いたコミュニケーションの特性を理解する （2）よいパラグラフの特徴を理解する。 （3）効果的に展開された知的なパラグラフが書けるようになる （4）ライティングにおける流暢さを向上させる （5）自己添削やピア添削の技術を身につける		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ドイツ語）４ａ	LA302	3	1	選択	基礎的な文法を理解し、運用できることを目標とします。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（フランス語）４ａ	LA302	3	1	選択	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題や個人的にも関心のある話題について、標準的な表現であれば主要点を理解でき、また同じ内容の文章が書けることを目標とする。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ロシア語）４ａ	LA302	3	1	選択	・入門・基礎レベルの内容を復習しながら、ロシア語によるプレゼンテーションのための基礎表現を身に付ける。 ・ロシア語で簡単なプレゼンテーションを行えるようになる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（スペイン語）４ａ	LA302	3	1	選択	スペイン語の文法、辞書を活用してスペイン文の読解をできるようにすることが目標である。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（中国語）４ａ	LA302	3	1	選択	基礎を固め応用力を身につける。さらに中級レベルの読解力と会話力を養う。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（朝鮮語）４ａ	LA302	3	1	選択	読み書き能力向上を図るとともに、平易な日常会話が可能となる口頭運用能力の養成を図ります。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（英語）4b	LA303	3	1	選択	具体的には、以下5つを目標にする。 （1）文字を用いたコミュニケーションの特性を理解する （2）よいエッセイの特徴を理解する （3）効果的に展開された知的なエッセイが書けるようになる （4）ライティングにおける流暢さを向上させる （5）自己添削やピア添削の技術を身につける		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ドイツ語）４ｂ	LA303	3	1	選択	基礎的な文法運用力と語彙力を習得し、実際にドイツ語圏で使用されている簡単な文章を理解し、日常生活で最低限必要な表現力を身につけます。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（フランス語）４ｂ	LA303	3	1	選択	春学期より複雑な構文や語彙を含む文章について、標準的な表現の文章の主要点を理解でき、また同じ内容の文章が書けることを目標とします。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（ロシア語）４ｂ	LA303	3	1	選択	ロシア語で日本について簡単に紹介できるようになる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（スペイン語）４ｂ	LA303	3	1	選択	スペイン語の文法、辞書を活用してスペイン文の読解をできるようにすることが目標である。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（中国語）４ｂ	LA303	3	1	選択	基礎を固め応用力を身につける。さらに中級レベルの読解力と会話力を養う。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	プラスワン外国語（朝鮮語）４ｂ	LA303	3	1	選択	読み書き能力向上を図るとともに、平易な日常会話が可能となる口頭運用能力の養成を図ります。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語（各言語）クロス留学	LA105	1	1	選択	1. 留学先の日常生活において必要な基礎的表現を習得する。 2. 生活習慣・言語・文化に関する異文化理解を深める。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語（朝鮮語）３ａ	LA304	3	1	選択	社会生活で役立つ高度な言語運用能力を育成する。 （ハングル検定2級～準1級、韓国語能力試験4～5級）		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語（朝鮮語）３ｂ	LA305	3	1	選択	社会生活で役立つ高度な言語運用能力を育成する。 （ハングル検定2級～準1級、韓国語能力試験4級～5級）		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語（朝鮮語）４ａ	LA304	3	1	選択	朝鮮語を精密に読み解き、これを母語である日本語で精密かつ適格な表現・文体で翻訳する能力を養う。適格な日本語に翻訳できてこそ、朝鮮語の概略的な意味のみならず、その繊細な意味ニュアンスまで把握できているか否かを検証することができる。このためには、朝鮮語の意味ニュアンスを読み解く能力のみならず、豊富な日本語の表現力、論理的な文章構成能力の向上が求められる。 上記のような側面を重視しつつ、この授業では、日本語への翻訳作業を通じて、朝鮮語の精密な読解能力を高めることを目標とする。 そして、社会生活で役立つ比較的高度な言語運用能力を育成することを目指す。		◎		○	○		

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
プラスワン外国語科目	副専攻言語(朝鮮語)４ｂ	LA305	3	1	選択	朝鮮語を精密に読み解き、これを母語である日本語で精密かつ適格な表現・文体で翻訳する能力を養う。適格な日本語に翻訳できてこそ、朝鮮語の概略的な意味のみならず、その繊細な意味ニュアンスまで把握できているか否かを検証することができる。このためには、朝鮮語の意味ニュアンスを読み解く能力のみならず、豊富な日本語の表現力、論理的な文章構成能力の向上が求められる。 上記のような側面を重視しつつ、この授業では、日本語への翻訳作業を通じて、朝鮮語の精密な読解能力を高めることを目標とする。 そして、社会生活で役立つ比較的高度な言語運用能力を育成することを目指す。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語(朝鮮語)５ａ	LA304	3	1	選択	1. 朝鮮語独自の多様な表現世界に対する理解を深めるとともに、朝鮮語の高度な運用能力を育成する。 2. 母語としての日本語に対する深い理解を前提として、様々な朝鮮語表現を適宜適格な日本語に翻訳する能力を養う。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語(朝鮮語)５ｂ	LA305	3	1	選択	1. 朝鮮語独自の多様な表現世界に対する理解を深めるとともに、朝鮮語の高度な運用能力を育成する。 2. 母語としての日本語に対する深い理解を前提として、様々な朝鮮語表現を適宜適格な日本語に翻訳する能力を養う。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語(中国語) ３ａ	LA304	3	1	選択	社会生活とりわけビジネスの場で役立つ高度な言語運用能力を育成する。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語(中国語) ３ｂ	LA305	3	1	選択	社会生活とりわけビジネスの場で役立つ高度な言語運用能力を育成する。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語(中国語)４ａ	LA304	3	1	選択	華語と普通話の差異に注意しながら中国語の中級から高級レベルの会話力を習得する。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語(中国語)４ｂ	LA305	3	1	選択	華語と普通話の差異に注意しながら中国語の中級から高級レベルの会話力を習得する。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語(中国語)５ａ	LA304	3	1	選択	華語と普通話の差異に注意しながら中国語の中級から高級レベルの文書作成能力を培う。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	副専攻言語(中国語)５ｂ	LA305	3	1	選択	華語と普通話の差異に注意しながら中国語の中級から高級レベルの文書作成能力を培う。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	Intensive English Program Ⅰ	LE200	2	1	選択	Course Goals: By the end of this course, students will be more proficient at: - reading for meaning and detail - note taking and listening - presentation and discussion - report writing		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	Intensive English Program Ⅱ	LE201	2	1	選択	By the end of this course, students will be more proficient at: - Reading for understanding - Listening and note taking (TOEIC skill focus) - Presentation - Discussion		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	Intensive English Program Ⅲ	LE202	2	1	選択	By the end of this course, students will understand how to prepare and organize several types of essay, be able to present their opinions in a clear and organized manner using theformat of the five-paragraph essay, and review basic mechanics of English grammar, syntax, and usage through extensive writing and editing		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	Intensive English Program Ⅳ	LE203	2	1	選択	The main goal of this class is to develop students' writing and research skills to enable them to complete a 5-page research paper, utilizing academic sources and correct citationstyle. As preparation there will be two shorter essays, leading to the final project. Each stage of the process will take about one to two classes, so students must keep pace in order to produce the final research essay on schedule.		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	特別修得外国語(ドイツ語) Ⅰ	LG301	3	1	選択	日常生活で使用するテキスト・映像を知るようになり他のアプローチを通してたくさんのドイツ語圏の国々、現代のドイツ語を学び、ドイツ人の留学生との交流し、ドイツ・ヨーロッパの主な2017年についての活発な体験する。易しい会話を通してドイツの現在の実情を知るようになる、国際理解を深める。 注目:p/p/p (positive / personal / practical) ＞＞＞ P/P/P (Partnership / Pen-friend / Project)		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	特別修得外国語(ドイツ語) Ⅱ	LG302	3	1	選択	日常生活で使用するテキスト・映像を知るようになり他のアプローチを通してたくさんのドイツ語圏の国々、現代のドイツ語を学び、ドイツ人の留学生との交流し、ドイツ・ヨーロッパの2017年についての活発な体験する。易しい会話を通してドイツの現在の実情を知るようになる、国際理解を深める。 注目:p/p/p (positive / personal / practical)＞＞＞P/P/P (Partnership / Pen-friend / Project)		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	特別修得外国語(ドイツ語)Ⅲ	LG303	3	1	選択	Wenn Sie den Kurs erfolgreich abschließen, haben Sie damit gezeigt, dass Sie die wichtigsten Situationen des Alltags und der persönlichen Arbeitswelt auf Deutsch bewältigen können. Im Wortschatztraining können Sie den Wortschatz der Handlungsfelder üben, die für die jeweiligen Tests, die im Kurs bearbeitet werden, wichtig sind.		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	特別修得外国語(ドイツ語)Ⅳ	LG304	3	1	選択	Wenn Sie den Kurs erfolgreich abschließen, haben Sie damit gezeigt, dass Sie die wichtigsten Situationen des Alltags und der persönlichen Arbeitswelt auf Deutsch bewältigen können. Im Wortschatztraining können Sie den Wortschatz der Handlungsfelder üben, die für die jeweiligen Tests, die im Kurs bearbeitet werden, wichtig sind.		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	特別修得外国語(フランス語) Ⅰ	LF300	3	1	選択	・フランス語の名前やルセットに関連して表れてくる言語や文化の問題について考察し、考えを述べることができる。 ・フランス語のルセットがある程度読めるようになる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	特別修得外国語(フランス語) Ⅱ	LF301	3	1	選択	藝術作品や物事をその背景まで掘り下げて見るようになる。 フランス語で書かれた文章に親しめるようになる。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	特別修得外国語(フランス語)Ⅲ	LF302	3	1	選択	この授業では、ビデオを観てフランス語のコミュニケーション能力の向上を目指します。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	特別修得外国語(フランス語)Ⅳ	LF303	3	1	選択	この授業では、ビデオを観てフランス語のコミュニケーション能力の向上を目指します。		◎		○	○		

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
プラスワン外国語科目	実践中国語（中級）	LC311	2	1	選択	①聴解力：ノーマルスピードの音声に慣れ、大意を理解できる。 ②読解力：文法、構文などを踏まえて、内容を正しく読み解くことができる。 ③背景知識：聴解と読解を通して、中国や日本の文化、社会、時事への理解を深める。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	実践中国語（上級）	LC312	2	1	選択	①聴解力：全体の流れが把握でき、かつ細部の音声も認識できる。 ②読解力：スムーズな訳出ができる。 ③背景知識：聴解と読解を通して、中国や日本の文化、社会、時事への理解を深める。		◎		○	○		
プラスワン外国語科目	中国古典文講読a	LC313	2	1	選択	高校国語・漢文を教授できるだけの講読能力と関連知識の獲得を到達目標とします。	◎		○				
プラスワン外国語科目	中国古典文講読b	LC314	2	1	選択	高校国語・漢文を教授できるだけの講読能力と関連知識の獲得を到達目標とする。	◎		○				
演習科目	専門演習	SP399	3	2	必修	専門演習では，英語教育分野において自分が研究する分野を絞り，その先行研究をまとめたレポートを作成し，プレゼンテーションすることを到達目標とします。4年次の卒業演習では、各自が選んだ研究分野の先行研究の批判的考察、研究課題設定，独自の論考やデータ分析を含む演習論文の作成（日本語の場合12000字，英語の場合5000語以上）が求められます。論文形式ではないプロダクト（教材開発など）を提出する場合も，プロダクトの開発背景，詳細説明，使用実践例などをまとめた文書の提出が求められます（分量については，プロダクトの内容に応じて変わります）。			◎			○	◎
演習科目	卒業演習1	SP400	4	2	必修	研究デザインに基づき，以下の項目について研究を進める。 1) 先行研究レビュー 2) 研究課題の設定 3) 研究対象の記述 4) 研究方法の確認 5) 研究調査の実施			◎			○	◎
演習科目	卒業演習2	SP401	4	2	必修	卒業プロダクトの製作（英語もしくは日本語による論文作成、教材開発等）			◎			○	◎
プログラム科目	言語教育学（英語）	SP300	3	2	選択必修	授業計画に提示された様々なトピックに対して、以下3点を到達目標とする。 （1）深い理解を得ることができる。 （2）自分なりの見解を持つことができる。 （3）先行研究を統合し、いくつかのトピックについては、プレゼンすることができる。			◎				○
プログラム科目	言語教育学（中国語）	SP301	3	2	選択必修	日本における中国語学習・中国語教育を取り巻くさまざまな問題について基本的な理解をすること、個々の問題についてさらに深く追究したいばあいには、どのようなアプローチをとればよいかを理解することを目標とする。 同時に、何かの答えを知りたい場合に仮説を立ててそれを検証することができるスキルを身につけることも目標とする。このスキルは、受講生が将来、受講することになる授業、将来就くことになる職業においても重要なスキルとなるはずである。			◎				○
プログラム科目	言語教育学（日本語）	SP302	3	2	選択必修	(1)言語教育の理論と実践に関する基本的なトピックや扱われている問題を理解すること。 (2)自分自身の外国語学習や海外留学の経験を足掛りに、具体的な日本語教育のあり方を考えること。			◎				○
プログラム科目	第二言語習得論	SP303	3	2	選択必修	1. Students acquire fundamental knowledge about second language learning/teaching informed by SLA theory and research. 2. Students are able to express coherent and logical ideas on issues relating to SLA and L2 education based on SLA studies.			◎				○
プログラム科目	外国語学習者論	SP308	3	2	選択必修	This course will help students - understand the basic knowledge of the effects of individual differences in second/foreign language learning and teaching. - develop strategy training materials for language learning/teaching.			◎				○
プログラム科目	外国語テスト・評価論	SP309	3	2	選択必修	1. 言語能力テストの基本的な概念、知識を得る。 2. 言語テストで測定しようとする言語能力の理論的な枠組みを理解する。 3. テスト開発の基本的プロセスを理解する。 4. 言語テストデータの最低限必要な分析ができる。 5. 言語テストの利点、改善点を客観的に判断できる視点を養う。			◎				○
プログラム科目	外国語教育メディア・教材論	SP310	3	2	選択必修	1. To explain theoretically the importance of media in foreign language teaching/learning 2. To understand why an how to use educational media in primary and secondary school English lessons 3. To plan and demonstrate an English lesson that makes effective use of educational media			◎				○
プログラム科目	外国語早期教育論	SP311	3	2	選択必修	Students are expected to be able to understand each issues dealt with in the class (e.g., teaching methods, materials development, and evaluation) and to develop a lesson plan as well as materials by oneself.			◎				○
プログラム科目	心理言語学研究	SP312	3	2	選択必修	① 母語の獲得，外国語の習得プロセスを理解する。 ② ことばの知覚と意味の認知過程を理解する。 ③ ことばの生成過程を理解する。			◎				○
プログラム科目	日本語教育演習	SP313	3	2	選択必修	(1)日本語教室で何が起こっているかを理解し、教室参加者の行動に対する観察力を深めること。 (2)自分が「どのような学習/教育環境を作りたいか」を念頭に置き、実践活動を通して授業力を身につけること。			◎				○
プログラム科目	言語の構造（音声・音韻）	SP318	3	2	選択必修	① 音声の産出に係る生理的側面を理解する。 ② 音声の伝播に係る物理的側面を理解する。 ③ 音声の知覚，意味理解に係わる原理を理解する。			◎				○
プログラム科目	言語の構造（意味・談話）	SP319	3	2	選択必修	By the end of this course, students should have deepened their knowledge of and ability to explain the structure of spoken interaction and the ways in which language is used by speakers to convey a variety of contextual information.			◎				○

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
プログラム科目	言語と社会(欧米)	SP320	3	2	選択必修	次の4項目の習得を目標とします。 ・言語は社会と文化のかかわりの中で形作られていることを理解する。 ・ノン・ネイティブの英語がどのように使用されているかを理解する。 ・相手が理解できる英語とは何かを考える。 ・国際機関における言語使用について理解する。			◎				○
プログラム科目	言語と社会(アジア)	SP321	3	2	選択必修	近現代における日本語・朝鮮語・中国語の言語政策や言語接触から生起した諸現象についての理解を深める。			◎				○
プログラム科目	言語分析研究(一般)	SP326	3	2	選択必修	言語分析の基本的概念を理解し、「言語とは何か？」について考えを深めます。			◎				○
プログラム科目	言語分析研究(英語)	SP327	3	2	選択必修	Through direct engagement with data from Japanese and English, students gain experience in describing linguistic structures and formulating testable hypotheses about the underlying systematic rules of English and Japanese usage.			◎				○
プログラム科目	言語分析研究(日本語)	SP328	3	2	選択必修	Students will.. > learn the basic notions and terminology of linguistics (a scientific study of human language) > be able discuss the differences and similarities between Japanese and other languages > learn how to analyse the phonological, grammatical and pragmatic patterns of Japanese > be introduced to how Japanese is taught to non-native speakers of Japanese			◎				○
プログラム科目	言語分析研究(中国語)	SP329	3	2	選択必修	中国語の言語的特徴を知り、通訳・翻訳、言語教育(日本人への中国語教育、中国人への日本語教育)等の分野で、この知識をどう生かすかを考えられるようにする。			◎				○
プログラム科目	エリア・スタディーズ(英米)	SP335	3	2	選択必修	過去の英語の変容を概観することにより、それが現代英語の形成にどのように関わっているのかを理解する。			◎				○
プログラム科目	エリア・スタディーズ(アジア)	SP336	3	2	選択必修	アジア諸国との間に横たわる歴史的問題・今日的問題への理解を深める。そして、一般世論や流言飛語に振り回されることなく、物事を多角的に考察し、主体的に判断する思考を養う。			◎	○			○
プログラム科目	エリア・スタディーズ(ヨーロッパ1)	SP337	3	2	選択必修	クリスマスという祝祭を通じてドイツ文化、ヨーロッパ文化を知る。異文化、宗教行事について多層的複眼的に観察する視点を身につける。			◎	○			○
プログラム科目	エリア・スタディーズ(ヨーロッパ2)	SP338	3	2	選択必修	スペインという国について、地域ごとに、それぞれの歴史、文化の概要を把握し、それらへの興味・関心を深めること。			◎	○			○
プログラム科目	地域言語文化論(英米)	SP339	3	2	選択必修	1. アメリカ合衆国の歴史(19世紀から21世紀)を確認する 2. この国がさまざまな民族から構成されていることを確認する 3. アメリカ文化の豊かさを理解する			◎	○			○
プログラム科目	地域言語文化論(中国)	SP340	3	2	選択必修	中国語とそれに関連する文化全般についての基礎知識習得を目標とする			◎	○			○
プログラム科目	カルチュラル・インタラクション1	SP346	3	2	選択必修	(1)中国の多様な文化を知る。 (2)中国人による具体的な異文化認識を知る。 (3)中国語の理解力を高める。中国語原文に触れる			◎	○			○
プログラム科目	カルチュラル・インタラクション2	SP347	3	2	選択必修	-Understand and recognize different aspects of culture and communication. -Acquire cultural knowledge of a specific region of the world. -Be able to adopt a different cultural perspective and employ such a perspective in analyzing cultural issues. -Give a presentation that reflects on culture differences between Japan and a chosen region of the world.			◎	○			○
プログラム科目	言語接触研究	SP348	3	2	選択必修	ことばを学ぶとはどういうことかを明らかにする。			◎	○			○
プログラム科目	文化とコミュニケーション	SP354	3	2	選択必修	To gain basic knowledge of intercultural communication related issues, to develop skills to communicate effectively with multicultural partners, and to train critical thinking skills that allow critical analysis of different forms of cultural representations.			◎	○			○
プログラム科目	比較文化論	SP355	3	2	選択必修	文化が違うといかに“異なる表現がなされるのか” “世界が異なって見えるのか”“異なる行動がおこなわれるのか”といった、文化の違いがもたらす“多様性”について理解を深めます。			◎	○			○
プログラム科目	コミュニケーション論	SP356	3	2	選択必修	コミュニケーション学の視点から、コミュニケーション全般について理解を深める。それにより、コミュニケーションが社会においてどのような役割を果たしており、よりよくコミュニケーションするために何が必要であるのかについて学ぶ。			◎	○			○
プログラム科目	多文化共生論	SP357	3	2	選択必修	世界のさまざまな多文化社会の事情について、歴史・言語・民族・宗教などの観点から理解を深め、自文化中心の「単一文化主義」を乗り越えて、ありうる(べき)「多文化共生」の形について考えるための情報を与える。			◎	○			○
プログラム科目	コミュニケーション研究	SP363	3	2	選択必修	コミュニケーション研究において一般的に用いられる研究手法の特徴と目的、データ収集方法および分析方法などについて理解を深める。それにより、研究論文を正しく読み取ることができるようになるとともに、自身の研究の結果を適切にまとめることが出来るようになることを目指す。			◎	○			○
プログラム科目	国際ビジネスコミュニケーション論	SP364	3	2	選択必修	By the end of this course, students should develop the following attributes: 1. The confidence to communicate their opinions, supported with reasons, in a variety of situations (marketing presentations, debates, discussions, and negotiations). 2. The communication skills to deliver their ideas effectively to the intended audience in a coherent and persuasive manner. 3. An open-minded attitude to the perspectives of their co-students and the cultures of other countries. 4. The skill to evaluate others based on logical principles through student-generated categories of peer assessment. 5. Awareness of how non-verbal forms of communication (such as visual aids) can help or hinder their presentations.			◎	○			○
プログラム科目	メディアコミュニケーション論	SP365	3	2	選択必修	＊多様なメディアの理解をする。 ＊メディアの役割、対人関係に及ぼす影響の理解をする。 ＊メディアの受け手として、発信者としての認識を深める。			◎	○			○

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
プログラム科目	観光コミュニケーション論	SP366	3	2	選択必修	＊観光を考える視点について学ぶ。 ＊さまざまな観光の種類について知る。 ＊文化が観光に与える影響について理解を深める。			◎	○			○
プログラム科目	国際協力・ボランティア論	SP367	3	2	選択必修	By the end of this course students should have an introductory knowledge as follows: 1.The history and theory of international development; how this influences development policy and practice; the organizations involved in development andthe impacts of different approaches. 2.Key themes, with special focus on development as it intersects with human rights and democracy, health, the environment,rural development, food security, poverty, and famine. 3.The role of civil society in development and various development projects. 4.Practical guidance on such essential issues as motivating people to volunteer their time and services, and recruitment. 5.Volunteer demographics, volunteer program leaders and managers, policy making and implementation, planning and staff analysis, recruiting,interviewing and screening volunteers, orienting and training volunteers.			◎	○			○
プログラム科目	通訳翻訳の理論と実技a	SP373	3	2	選択必修	①通訳翻訳に関する理論的な理解を深める、②基本的な通訳および翻訳スキルを習得する、③実践的な演習課題を通して日英双方にわたる言語運用力を強化する。			◎	○			○
プログラム科目	通訳翻訳の理論と実技b	SP374	3	2	選択必修	①通訳翻訳に関する理論的な理解を深める、②基本的な通訳および翻訳スキルを習得する、③実践的な演習課題を通して日英双方にわたる言語運用力を強化する。			◎	○			○
プログラム科目	通訳演習a(ビジネス通訳1)	SP375	3	2	選択必修	In this class you will acquire the following through a variety of activities: > Practical knowledge of the basic modes of interpreting: sight, consecutive, and simultaneous > Practical skills in summarising speech content > Practical skills in remembering speech content > Practical skills in supplementing missing items in a speech > Practical skills in shadowing and lagging > A general understanding of the abilities, knowledge, and role of the interpreter > An understanding of the career resources and options available to interpreters			◎	○			○
プログラム科目	通訳演習a(観光ガイド通訳)	SP375	3	2	選択必修	本講義達成目標としては ①　日本の文化を正確・迅速に自然な英語で説明できる ②　日本の歴史や地理に対する知識を深め、さらに英語で簡潔に概説できる ③　観光関連の一般常識に対する知識を深める ④　その他、外国人が日本に抱く関心に積極的に反応できるグローバルコミュニケーションスキルが習得できる ⑤　現地実習を通して、責任感・柔軟性・他者に共感する意識を育むことができる。			◎	○			○
プログラム科目	通訳演習a(日中通訳)	SP375	3	2	選択必修	①日本における中国語通訳の現況を把握し、通訳に求められる資質や技能を理解する。 ②通訳トレーニングメソッドを掌握し、脳トレを行う。 ③簡単な日中、中日通訳ができるようになる。 ④フォーマルな場面においても緊張しないで話せるような心臓に鍛えあげる。 ⑤同時通訳の前段階としての逐次通訳の手法をモノにする。			◎	○			○
プログラム科目	通訳演習b(ビジネス通訳2)	SP376	3	2	選択必修	逐次通訳の基本的なスキルを習得する 通訳練習により，日⇔英運用能力を向上させる。 特に専門的でないビジネス関連のテキストを120WPM程度の速さで聞き取り，80%程度の正確さで再生・通訳することを目指す。			◎	○			○
プログラム科目	通訳演習b(コミュニティ通訳)	SP376	3	2	選択必修	日常生活において外国人が遭遇するコミュニケーションギャップの解消に寄与できる日英両言語間の通訳能力を開発する。 1. 多様な日常生活に必要な両言語での語彙が即答できる 2. 1を踏まえ、ある程度複雑な会話に対応できる 3. 状況に応じ、基礎的知識を適切に応用できる 4。困難な状況にも果敢に取り組む主体性を習得できる。			◎	○			○
プログラム科目	通訳演習b(日中通訳)	SP376	3	2	選択必修	①基礎的な通訳のスキルを身につける。 ②一般的な日中、中日通訳ができる。 ③両言語の語彙力・表現力を高める。			◎	○			○
プログラム科目	翻訳演習a(文芸翻訳1)	SP377	3	2	選択必修	誤解のない分かりやすい日本語を書くための基本的な技術を習得し、短い文芸作品を実際に翻訳する。			◎	○			○
プログラム科目	翻訳演習a(文芸翻訳2)	SP377	3	2	選択必修	1. 翻訳に関わる諸問題を知り、翻訳の意味を理解する 2. 翻訳作品を味わう			◎	○			○
プログラム科目	翻訳演習a(日中翻訳)	SP377	3	2	選択必修	①翻訳に関する基礎的な概念と理論を学び、作品の分析を通じて、日中言語、文化的な違いに意識し、問題意識を高める ②各回の翻訳実践演習を通じて、語学力の向上 ③翻訳方略などのスキルを養う			◎	○			○

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
プログラム科目	翻訳演習a(字幕翻訳)	SP377	3	2	選択必修	①字幕翻訳について実践・理論の両面からの知識を深め、字幕翻訳ユーザーとしての視座と倫理を獲得する ②コミュニケーションにおける言葉の役割について考え、自らの言語使用に自覚的になる ③異言語/異文化コミュニケーションとしての翻訳に立ちはだかる問題への意識を高める ④字幕翻訳の作業を体験し、実践的なスキルを獲得すると共に、そこに起こりうる問題にどう対処するのか、自分なりの解決方略を見出す ⑤自ら作成した字幕翻訳や問題解決における選択について、妥当、かつ論理的な説明ができる			◎	○			○
プログラム科目	翻訳演習b(実務翻訳)	SP378	3	2	選択必修	① 翻訳の実践を通して、実務翻訳に求められる事柄(品質要求、サービスなどの要件)を正しく理解し、そのための語学スキル、翻訳スキル、ビジネス能力を身につける ② 翻訳とローカリゼーションの演習を通して、言語・文化的差異・諸問題への問題が認識できるようになる ③ 実務翻訳に必要な、翻訳テクノロジー(翻訳メモリ、機械翻訳など)を理解し、正しく活用できるようになる ④ ローカリゼーション・プロジェクトに必要なワークフロー、プロジェクト管理スキル、ツール運用能力を身につける ⑤「翻訳リテラシー」(翻訳行為への理解、翻訳者への理解、翻訳ユーザーとして倫理)を身に付け、実践できるようになる			◎	○			○
プログラム科目	翻訳演習b(日中翻訳)	SP378	3	2	選択必修	・オリジナルに忠実に訳出する。 ・コンパクトで自然な日本語訳を作る。 ・有用な表現を抽出し、語彙力・表現力を高める。			◎	○			○
プログラム科目	文化翻訳論	SP384	3	2	選択必修	言語間翻訳における文化翻訳のあり方について多角的に検討し、多種多様な翻訳を理論的に分析・説明・評価ができるようになる。			◎	○			○
プログラム科目	英語通訳ワークショップ	SP385	3	2	選択必修	①逐次通訳の基本的なスキルを習得するとともに、特に専門的でない内容の素材について「ほぼ十分な」レベルで英日逐次通訳ができることを目指す。②英語と日本語の双方にわたる高度な言語運用力及びコミュニケーション能力を身に付ける。			◎	○			○
プログラム科目	英語翻訳ワークショップ	SP386	3	2	選択必修	①様々な国際問題に関する英語ニュースであれば翻訳とサイトラができるようになる。②最終提出作品として次の2つを提出する。 (1) 英日翻訳作品とその工夫した点の論述、(2) 日英翻訳作品とその工夫した点の論述。			◎	○			○
資格科目・専門関連科目	国際関係論入門	SP110	1	2	選択	各回で取り上げた国際関係に関わる基本的な問題や概念について正しく理解できていること。	○			◎		○	○
資格科目・専門関連科目	会計学入門	SP389	3	2	選択	会計の基本的な考え方、複式簿記の基本的な仕組みを習得する。用語を英語で学習する。	○			◎		○	○
資格科目・専門関連科目	アジア経済論	SP390	3	2	選択	北朝鮮経済は、90年代初頭に社会主義経済圏が崩壊して以降も経済の改革開放政策を導入せず、深刻な経済危機に見舞われて続けてきた。経済破綻(はたん)の町長が、90年後半に発生し大飢饉である。北朝鮮政府は現在、体制の危機に直結する経済危機の克服に向けて、経済政策で試行錯誤を繰り返している。授業では、政治経済学の観点から、この経済政策の試行錯誤を分析するのと同時に、その背後にある権力闘争の実態を明らかにする。そのことを通じて、近い将来の朝鮮半島の南北経済統合と北東アジア地域の経済発展の展望を探る。	○			◎		○	
資格科目・専門関連科目	国際社会と経済	SP391	3	2	選択	講義内容を正確に理解し、現在の日本経済を国際的視野から見ることができるようになることが到達の目標である。	○			◎		○	
資格科目・専門関連科目	マイノリティ論	SP392	3	2	選択	①「マイノリティ」を国民国家の再構築とグローバル社会のあり方のなかに位置づけて理解すること。 ②多義的で多様な「マイノリティ」の存在とその課題を理解すること。	○			◎		○	
資格科目・専門関連科目	国際協力とアジア	SP393	3	2	選択	・途上国の様々な問題についての基本的知識を習得する。 ・国際協力の基本的概念を理解する。 ・国際協力の現状について理解する。	○			◎		○	
資格科目・専門関連科目	外交政策	SP394	3	2	選択	(1)外交に関わる基礎的な概念を理解する。 (2)外交政策の構造と全体像が説明できるようになる。 (3)外交政策上の課題について自分なりの考えを展開できるようになる。	○			◎		○	
資格科目・専門関連科目	観光政策論	SP395	3	2	選択	・観光事業のマネジメント特性を理解する。 ・観光関連産業及び観光推進組織の実態を知る。 ・観光政策の意義と役割を理解する。	○			◎		○	
資格科目・専門関連科目	寄附講座(読売新聞提供「特派員が語る世界」)	SP111	1	2	選択	講義を通して、特派員から見た世界情勢を理解し、英字新聞の購読(あるいは、記事収集)を通じて、刻々と変化する国際的社会情勢を把握する習慣を身に付ける。	◎					○	
資格科目・専門関連科目	寄附講座(野村證券提供「経済の仕組みと株式会社」)	SP111	1	2	選択	経済の仕組みと株式会社について、初歩から始めて企業情報がある程度理解できるレベルまで。	◎					○	
資格科目・専門関連科目	教職概説	ED100	1	2	選択	教職の意義と役割を理解し、教職の実際の仕事の概要を知ることによって、教職に向けて自分自身の適性や資質を確認するとともに、教師をめぐる様々な問題に常に関心を寄せて探究する姿勢、教員としての使命感を持って教育に取り組む姿勢をもち、教職への意欲を高める。			◎				○
資格科目・専門関連科目	教育原理	ED101	1	2	選択	①教育の研究や実践にとって不可欠だと考えられる基礎的基本的な概念を修得する。 ②一人一人の子どもの成長の姿や、成長の過程にはたらきかける人間的、社会的諸環境について理解する。 ③教育や学習の当事者、当事者間の問題をそれらを取り巻く諸環境との関わりの中で了解する。 ④教育がどのような営みなのかを自覚する。			◎				○
資格科目・専門関連科目	英語科教育法 (一)	ED200	2	2	選択	英語教育の目的，学習指導要領，コミュニケーション能力論，指導・評価方法について，その内容について理解し，基礎的な指導技能を実演することができる。			◎				○
資格科目・専門関連科目	英語科教育法 (二)	ED201	2	2	選択	1)四技能の基本的な指導法について理解し，その内容を説明，実演できる。 2)文法や語彙の学習方法について理解し，基本的な指導方法を説明，実演できる。 3)評価方法の種類や方法について基礎的な知識を身につける。			◎				○
資格科目・専門関連科目	教育制度論	ED202	2	2	選択	①教育制度に関する基礎的・基本的な知識を体系的に習得する。 ②教育制度をめぐる改革動向や課題について具体的に理解する。			◎				○
資格科目・専門関連科目	教育心理学	ED203	2	2	選択	1. 授業全体を通し，児童生徒が自律性・主体性を育みながら日々変化を遂げようとする存在であることを理解する。 2. 児童生徒の学びや発達の特徴を踏まえ，教師としての彼らへの関わり方について自身の見解を持つ。			◎				○

外国語学部　カリキュラムマップ(案)

◎＝特に重要な事項　○＝重要な事項

科目区分	授業科目	科目番号	配当年次	単位	必修・選択の別	到達目標	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力				主体的な態度
							①幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得することができる	②主専攻言語である英語・中国語、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身につけ、それらを総合的に活用することができる	①言語コミュニケーション教育、言語分析、地域言語文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳の5つの専門領域についての知識と技能を活用できる	②グローバルな視野に立って自ら考えることができる	③周囲の人と円滑なコミュニケーションをとることができる	④「考動力」を発揮して社会に貢献することができる	自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる
資格科目・専門関連科目	教育方法・技術論	ED204	2	2	選択	「授業についての授業」として、「教え」「学び」の基本構造、その中心的な「知識」の問題、学び方・教えかたの諸形態、教育におけるICT活用、教育評価の問題を中心に重要な概念を系統的に身につける。			◎				○
資格科目・専門関連科目	道徳教育の理論と方法	ED205	2	2	選択	講義でめざす具体的な到達目標は、以下の4点である。 ・道徳の教科化への経緯の理解。 ・日本の道徳教育の歴史的認識の深化。 ・新しい学習指導要領の道徳教育にかかわる内容の理解。 ・「特別の教科道徳」の学習内容の理解と学習指導案の作成。 　このような目標を達成することによって、「児童・生徒に道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる教員」としての素養を身につけさせる。			◎				○
資格科目・専門関連科目	特別活動論	ED206	2	2	選択	特別活動の教育的意義を理解し、そこでの児童・生徒の学びについて具体的事例を通して考察する。とりわけ現代社会や文化創造の課題と関わらせて従来の指導法の反省・吟味を行う。			◎				○
資格科目・専門関連科目	教育相談論	ED207	2	2	選択	①教育現場で生起する子どもの問題について，その背景や要因，対処法について説明できるようになること。 ②子どもの問題への具体的対応として，カウンセリングなどの基礎的スキルが教育相談で有用になることを理解する。			◎				○
資格科目・専門関連科目	人権教育論	ED208	2	2	選択	①人権思想の歴史と現状を理解する ②現代社会における具体的な人権問題の現状および歴史的・社会的背景を理解する ③人権教育を中心とした人権問題解決の取り組みの歴史と現状を理解する			◎				○
資格科目・専門関連科目	中国語科教育法 （一）	ED300	3	2	選択	中国語教育における基礎知識を整理習得し、教室活動における有効な教授法を自分自身で模索工夫できるようになることを目標とする。			◎				○
資格科目・専門関連科目	中国語科教育法 （二）	ED301	3	2	選択	中国語の語彙体系について全面的な知識を得る。			◎				○
資格科目・専門関連科目	ドイツ語教育法　1	SP396	3	2	選択	不開講			◎				○
資格科目・専門関連科目	ドイツ語教育法　2	SP397	3	2	選択	不開講			◎				○
資格科目・専門関連科目	フランス語教育法　1	SP398	3	2	選択	不開講			◎				○
資格科目・専門関連科目	フランス語教育法　2	SP399	3	2	選択	不開講			◎				○
資格科目・専門関連科目	カリキュラム開発論	ED302	3	2	選択	1.〈知識・技能〉カリキュラムについて歴史的，学習理論的，社会的要請の観点からその意義について説明することができる。 2.〈思考力・判断力・表現力〉自らの思考を言語化し，相手に説明することができる。また理解したことを図式やマインドマップ等で表現することができる。 3.〈態度〉主体的に課題等に取り組むことができる。			◎				○
資格科目・専門関連科目	生徒・進路指導論	ED303	3	2	選択	自身の学校生活を振り返り教員としての適性を吟味することができる。 生徒指導の基本理念を理解し実践事例を通じて必要な能力に知ることができる。 進路指導の基本理念を理解し進路実例を通して必要な資質を磨くことができる。 授業への参加態度を能動的・積極的に形成することができる。			◎				○